

(毎日/回発行)

2012年7月22日 第115号

発行

日本共産党新潟市議会議員団

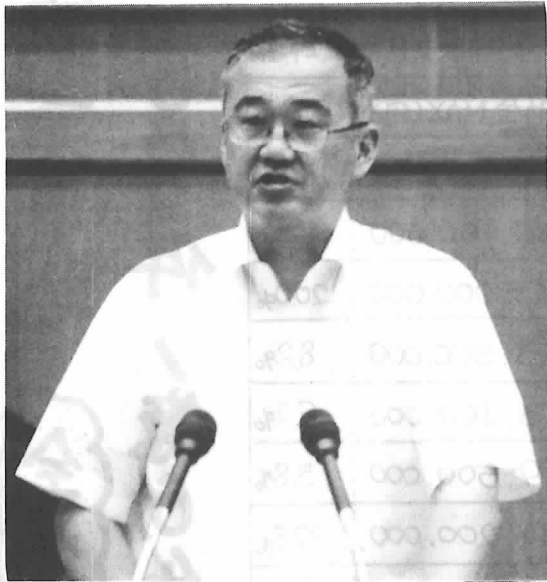
編集

新潟市議会議員 小山つお

(事務所) 0250-24-3840

(議員団控室) 025-226-3450

風のたよれ



福島原発事故から導き出される教訓について質問した後、東京電力は「総合特別事業計画」で来年度、柏崎刈羽原発の再稼働を盛り込んでいる。事故収束に

7月2日に終った日議会。私(小山)は、日議会にひきつづいて一問一答方式の原発事故と原発廃棄物の受け入れについての小規模工事登録制度の活用について篠田市長に質問しました。

ほど遠い状況にもかわらぬが、原発の再稼働を計画するのは許されない」と質問。篠田市長は「福島第一原発の本格統括がなされてない

市長答弁 日本のエネルギー政策 “脱原発依存”が 基本

段階で、原発の再稼働は許されない」と答えました。

また、「今求められているのは、日本のエネルギーを原発に依存するという政策から撤退し原発ゼロの日本を目指す政治決断を行うことだ」という質問に対し、市長は、脱原発依存が基本、それを全体のエネルギー政

ケラ金、生活保護など、なんでもお気軽に

くらしの相談会

なんでも

無料

とき 7月29日(日)

午前10時~12時

ところ 小山つお事務所

(かえつクリニックななめ向い)

TEL. 0250-24-3840

たいてい述べました。

小規模工事登録制度

活用 拡充へ

昨年12月、公共施設バリアフリー化等改修事業として組み立てた4億1,400万円。小規模工事登録制度の活用が大幅に増えたことをふまえ、今後の同制度の活用について質問。財務部長は「今回の事業では、限度額を超える事業にも試行的に制度活用を拡充したが、今後、登録事業者が比較的に参入しやすい工事について、試行的継続を検討する」と答へ、小規模工事登録制度の活用が広がりそうです。

今年度秋葉区で建設される広域型特別養護老人ホーム100床の事業者選定

が先日行われ、下越病院系列の(仮称)新潟勤労者福祉会が選ばれました。

建設場所は下越病院西側。病院

下越病院 西側に 特養ホーム建設

新潟市内では初。県内でも2ヶ所目です。

と渡り廊下をつなぐ、特別養護老人ホームです。こうした特養は、新築さうけている方の入所も可能とするところから注目されています。